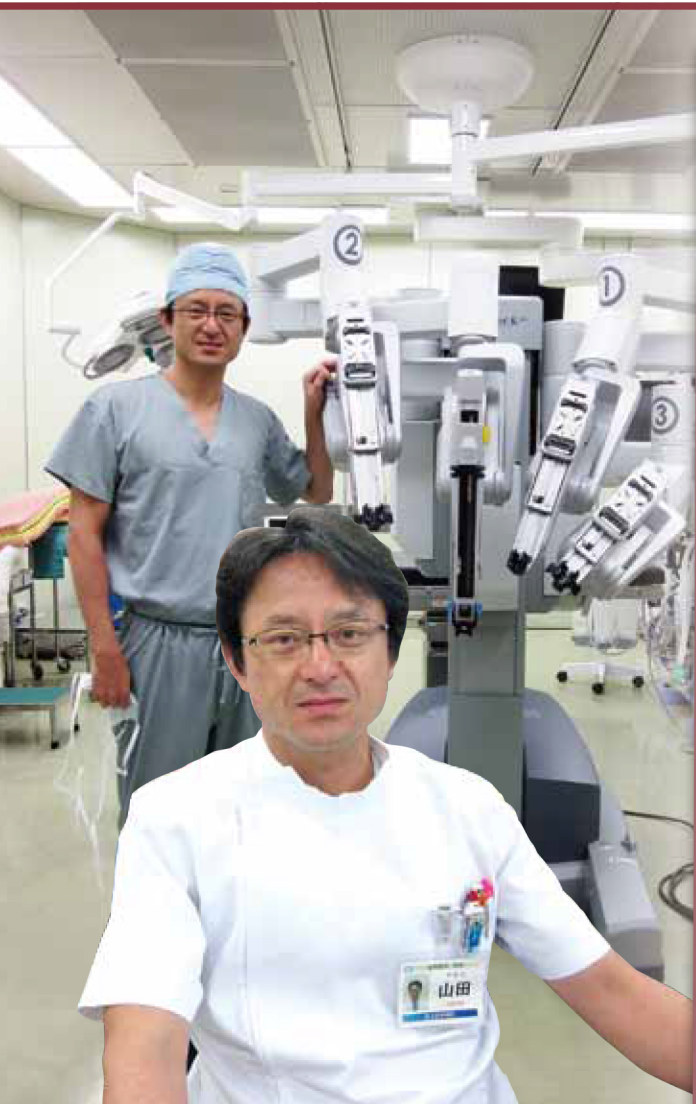


# 最先端の技術を用いて最高水準の泌尿器科医療を提供します

当科では泌尿器科全般を取り扱っていますが、特に泌尿器がんに対する腹腔鏡手術、尿路結石に対するESWL・内視鏡手術、前立腺肥大症に対するレーザー手術(HoLEP)に力を入れています。また下大静脈や右房にまで進展するような腎がんに対する手術や転移のある進行がんに対する抗がん剤治療を中心とした集学的治療の経験も豊富です。



## 低侵襲手術

副腎腫瘍や腎尿路悪性腫瘍に対しては腹腔鏡手術を積極的に行っています。また腎機能温存を目指した腎部分切除、尿管腫瘍レーザー焼灼術も行っています。2014年6月から前立腺がんに対してロボット支援手術(ダビンチSi)を開始しました。

## ロボット支援手術

前立腺がんに対する腹腔鏡手術で、術者が手術支援ロボット(ダビンチSi)のアームを遠隔操作して行うものです。従来の手術に比較して出血量が少なく、3D画像で行いますので精巧な手術が可能になり、患者さんの負担も軽減されました。

## レーザー手術

前立腺肥大症に対するレーザー核出術(HoLEP)や尿路結石に対しては軟性細径尿管鏡を用いたレーザー碎石術(fTUL)、大きい腎結石に対する経皮的レーザー碎石術(PNL)さらには両者を併用した碎石術(TAP)など最新治療が可能です。

## 対象とする疾患

副腎、腎臓、尿管、膀胱、前立腺、尿道、陰茎および精巣など陰嚢内容に関する疾患を対象にしています。前立腺がん検診(PSA検査)異常に対する精査も行います。

県立尼崎病院  
泌尿器科科長

山田 裕二

日本泌尿器科学会専門医・指導医  
腹腔鏡手術技術認定医  
神戸大学臨床准教授



二列目左から：田中医師、西岡医師、楠田医師、山道医師  
一列目左から：中野医師、山田医師



県立塚口病院：酒井医師